

第一位



電池が
切れるまで



このお話は、ミヤコしゆきなう。んこいう子が、
びょうきがかかってしまっ、入院してゐる
ときは、ゆきなうの人が、詩をつくりました。
そのあとゆきなうの人もなくなつてしまつた
お話です。その詩のたい名は、命は電池みたいだ
という詩です。思ひま注してしまつてです。

第二位



かわいそうな
ゾウ(ぞう)



このお話は、せんそうのため、ゾウをころ
さなければいけなくなつてしまつ、しいくいん
が、うまお話です。他のどつぶつはじんとん
いらんな、エムルにかかしてしまつてしまつた
ゾウは大好きなじゅが、いもに、よくまけて
食べません。まん、ちやうしやを、おつては
りがおほつてしまつてしまつ。そうとうしんじま
うところが、はまかうになつてしまつ。

第三位



さとしの
青春



さとしの青春は、いづれにかかつてしまつ
たさとしが入院してゐるとさつ、つと人がいから
とし、うきさめ、つとにかつていくお話です。
でも大人は、知らしてしまつてしまつては、

かなしいお話ばかりだね。